

選定に際してのご注意

警告

●相線式(1φ2W、1φ3W)・回路電圧に合わせて選んでください。
感電事故の防止ができません。

注意

- 単相3線式の漏電遮断器は、必ず中性線欠相保護付を選んでください。
異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。
- 不要な動作を防止するため、「住宅の電気設備推奨基準 第5版」にしたがってください。



住宅の電気設備推奨基準

1. 住宅用分電盤
- ①住宅用分電盤はJISC8328「住宅用分電盤」に適合し、(社)日本配線器具工業会の認定マーク(HPマーク)が貼付されたものを推奨する。
(社)日本配線器具工業会が認定した住宅用分電盤には、認定マーク(HPマーク)が貼付されている。
 - ②単相3線式の場合、単相200V電気器具が容易に採用できるよう、200Vの予備回路を設けておくことが望ましい。
 - ③予備回路、分岐ブレーカの設置スペースを確保しておく。
2. 漏電遮断器
- ①住宅用分電盤には、必ず漏電遮断器を施設する。
 - ②単相3線式回路に施設する漏電遮断器は、中性線欠相保護機能付きのものを原則とする。
3. 分岐回路



- ①分岐回路数は、住宅の広さに応じて下表の値以上とする。
 - ・αは大容量電気器具用などの専用回路を示す。
 - ・電気利用の変化に対応できるように、200V回路及び100V回路各1回路以上の予備回路を設ける。
 - ・専用分岐回路の必要な大型電気器具については、下表のほかに別の専用分岐回路を設ける。
なお、電気器具の種類によっては、200V回路を設ける。
 - ・分岐回路は、電灯用とコンセント用に分けることが望ましい。
 - ・深夜電力機器など電気契約種別の異なるものは、別個の専用回路を設ける。
- ②専用分岐回路
 - ・10Aを超える大型電気器具は、専用回路で使用する。また、とくに大型の場合は200V分岐回路を適宜設ける。
 - ・一般に専用分岐回路で使用する電気器具としては、次に示すようなものがある。
電子レンジ、電気レンジ、食器洗い器、電気暖房器、エアコン、衣類乾燥機、洗浄便座など

住宅の広さ	必要最小回路数	望ましい回路数							
		計	内訳			αの例			
			照明	一般コンセント		衣類乾燥機	エアコン	洗浄便座	電子レンジ
				台所	以外 台所				
50m ² (15坪)以下	3	5+α	1	2	2	1	1〜3	1	1
70m ² (20坪)以下	4	7+α	2	2	3	1	1〜3	1	1
100m ² (30坪)以下	5	8+α	2	2	4	1	1〜5	1〜2	1
130m ² (40坪)以下	6	10+α	3	2	5	1	1〜6	1〜2	1
170m ² (50坪)以下	8	13+α	4	2	7	1	1〜7	1〜2	1